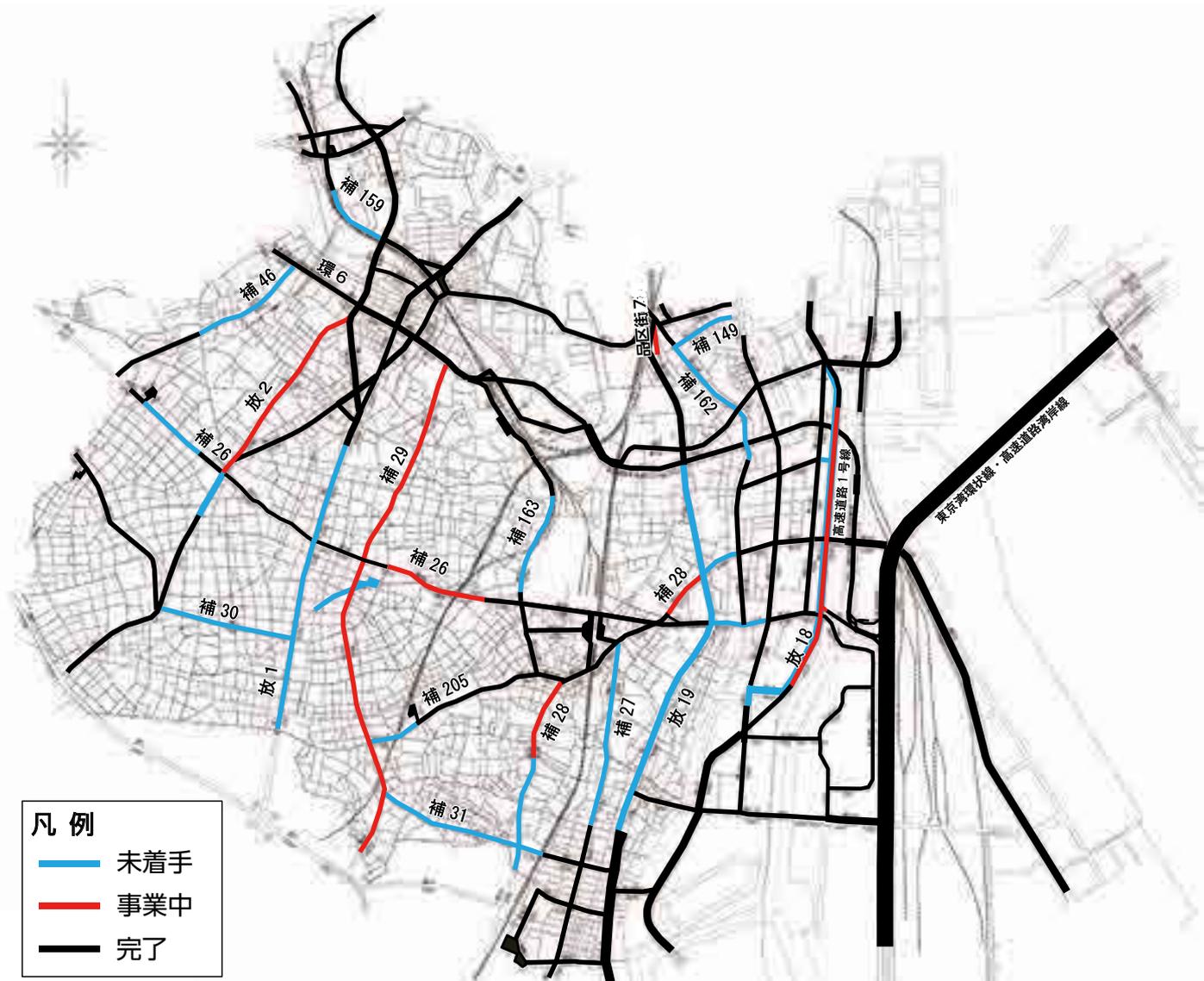


## ■都市計画道路の整備状況

都市計画道路とは、都市計画法で定められる基幹的な都市施設で、広域的な交通処理機能や市街地内の空間形成等に配慮して配置されており、長期的な整備計画を円滑かつ着実に実施するため、将来の道路整備に必要な区域をあらかじめ明確化し、予定区域の土地利用に一定の制限を課している道路です。

令和7年(2025年)4月末時点の区内の都市計画道路の整備状況は、下図のとおりです。



凡例	
<span style="color: blue;">—</span>	未着手
<span style="color: red;">—</span>	事業中
<span style="color: black;">—</span>	完了

### 現在事業中の路線

- ・区施行路線  
区画街路第7号線
- ・都施行路線  
放射 2号線 1 区間 (特定整備路線)  
補助26号線 1 区間  
補助28号線 2 区間 (うち1区間が特定整備路線)  
補助29号線 6 区間 (特定整備路線)
- ・首都高速道路株式会社施行路線  
都市高速道路第1号線、湾岸線 (改修工事)

# ■区施行路線の状況

現在品川区が事業を実施している都市計画道路は補助163号線で、計画延長2,160mのうち、約78%にあたる約1,704mの事業が完了しています。

また、Ⅰ・Ⅱ期区間の整備を終えた補助205号線は、残るⅢ期区間の事業化の検討を進めています。

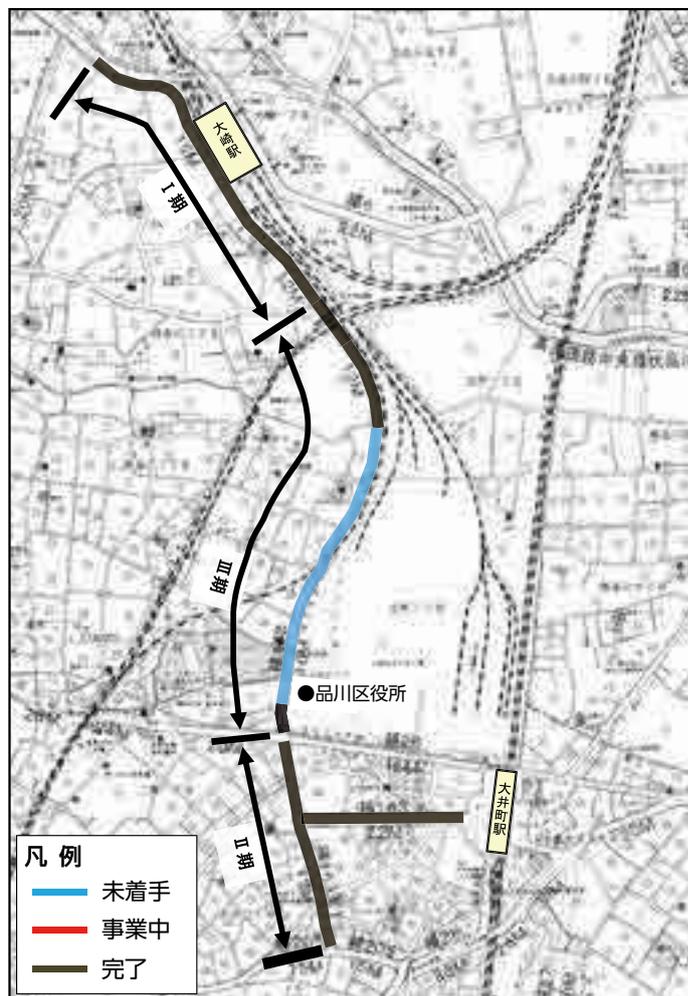
## [1] 補助163号線整備事業

補助163号線は、五反田・大崎・大井町を結ぶ区の重要な都市軸道路として整備を進めています。

環状6号線から百反通りまでのⅠ期区間とJR大井町駅および補助26号線から補助205号線までのⅡ期区間は整備が完了しています。

Ⅲ期区間については、西品川一丁目地区市街地再開発事業区間(約320m)において整備が完了しています。また、東急大井町線ガード下区間(約65m)は、令和5年3月に事業完了しました。(P.15「西品川一丁目地区」参照)

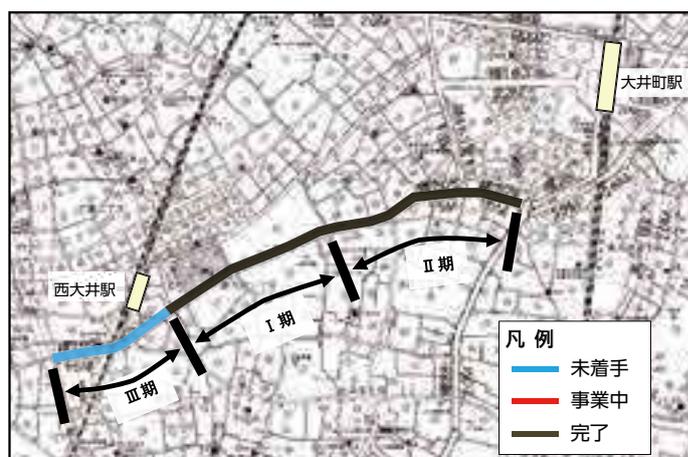
残るⅢ期区間についても、事業化に向けた検討を進めています。



## [2] 補助205号線整備事業

補助205号線は、区を中心核である大井町駅周辺と西大井地区を結ぶ横断軸道路として整備を進めるとともに、沿道地域の都市基盤の整備、交通安全、防災対策の向上を図るための地区幹線道路としても整備を進めています。

Ⅰ期・Ⅱ期区間については整備が完了しており、現在はⅢ期区間であるJR横須賀線・東海道新幹線交差部区間(原踏切)の事業化に向けた検討を進めています。



## ■子どもの森公園の改修整備

事業中

子どもの森公園は、地域の人々の憩いの場として利用されている現在の公園敷地および品川区清掃事務所(北品川分室)の跡地等の目黒川に接する土地を加えた約0.79ヘクタールの範囲について、水辺のにぎわいを創出するため、オープンスペースを確保し、老朽化した施設の更新、運動施設を改修整備します。

【事業期間:令和7年度(2025年度)～令和8年度(2026年度)(予定)】



## ■勝島運河公園(しながわ花海道水辺広場)の改修整備

事業中

しながわ花海道水辺広場は、「立会川・勝島地区まちづくりビジョン」および「都市再生整備計画 立会川・勝島地区」に基づき、だれもが散策や風景鑑賞を楽しめる歩行空間をつくることを目的として、利用者ニーズを踏まえ、防潮堤天端の遊歩道を再整備します。

また、勝島運河を中心とした地区の水辺の回遊性の向上および立会川地区と勝島地区の移動環境の充実を図るため、勝島運河に人道橋を整備します。

【事業期間:令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度)(予定)】



## ■天王洲公園(東品川海上公園)の拡張整備

事業中

天王洲公園(東品川海上公園)は、品川区の臨海部に位置し、区民の地域コミュニティの場や親水空間であると同時に、広域避難場所に指定されていることから、避難スペース等として防災上重要な役割を担っています。

令和5年度で隣接権利者との土地借用契約が満了したことに伴い、天王洲公園に隣接している東品川三丁目地内の約0.1ヘクタールの区域を拡張整備します。

【事業期間:令和6年度(2024年度)～令和7年度(2025年度)(予定)】



# 連続立体交差事業

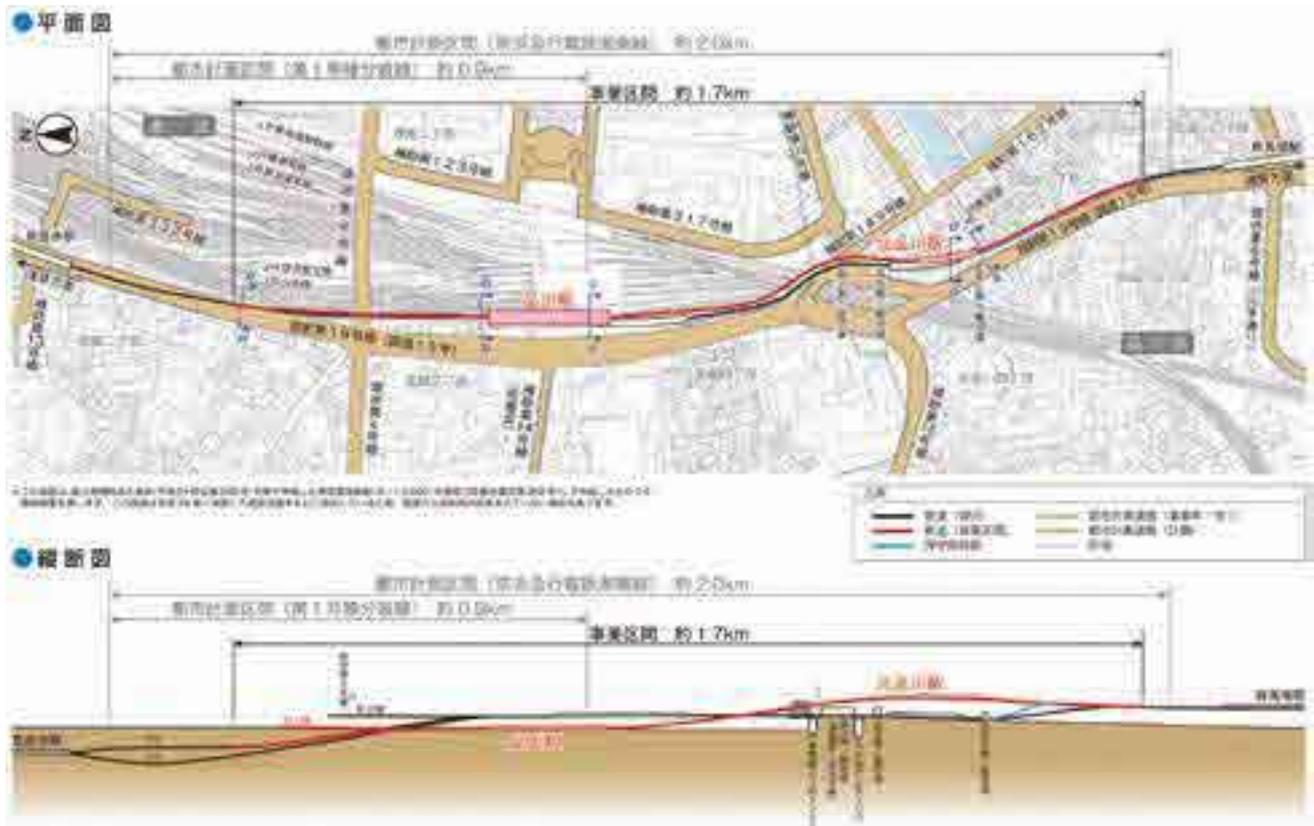
## ■京浜急行電鉄湘南線(京急本線)[泉岳寺駅～新馬場駅間]

京浜急行本線の連続立体交差化計画は、泉岳寺駅から新馬場駅までの約1.7kmの区間について鉄道を高架化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化するものです。

この計画の実施により、品川第一踏切などの3か所の踏切が除却され、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上が図られます。さらに、鉄道により分断されていた地域が一体化され、安全で快適なまちづくりが実現されます。

本事業は、平成30年(2018年)12月に都市計画決定され、令和2年(2020年)4月に事業が認可されました。

連続立体交差事業は東京都が事業主体となり進めておりますが、区ではこれと併せ北品川駅駅前広場整備事業を実施しています。



用地測量等説明会パンフレット(東京都)より引用

### 計画の概要

#### ≪都市高速鉄道京浜急行電鉄湘南線(京浜急行本線)≫

- ①区間 港区高輪二丁目～品川区北品川二丁目
- ②延長 約 2.0 km (事業区間約 1.7 km)
- ③構造形式 地下式、地表式、高架式(嵩上式)
- ④駅施設 品川駅 ホーム延長:約221m ホーム幅員:約5m～12m  
北品川駅 ホーム延長:約113m ホーム幅員:約2m～5m

#### ≪都市高速鉄道第1号線分岐線(京浜急行本線)≫

- ①区間 港区高輪二丁目～港区高輪三丁目
- ②延長 約 0.9 km
- ③構造形式 地下式、地表式

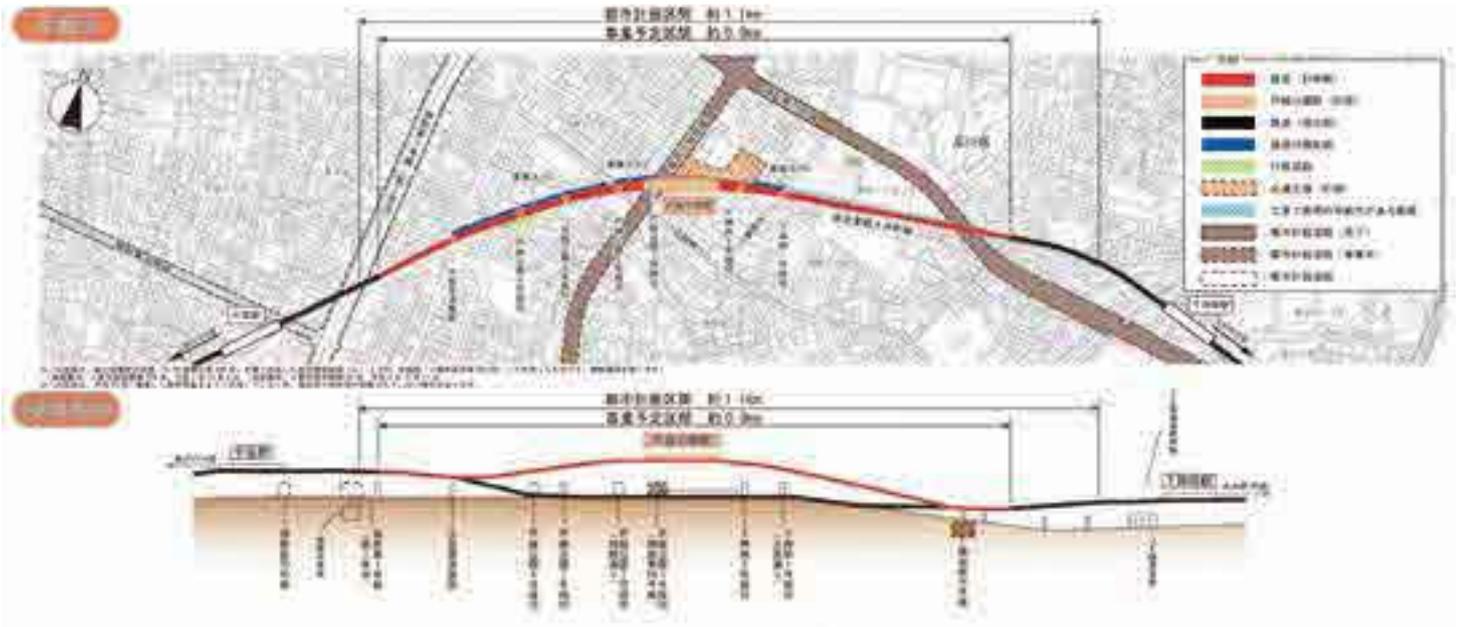
## ■東急電鉄大井町線戸越公園駅付近

東急電鉄大井町線戸越公園駅付近には、現在6か所の踏切が連続して存在しており、踏切事故の危険性や市街地の分断、また、災害時における避難行動に支障をきたすなどの課題があります。

このため、区では以前から「品川区まちづくりマスタープラン」や「戸越公園駅周辺まちづくりビジョン」等において、鉄道立体化による踏切の解消をまちづくり方針等に掲げ、安心して暮らせる活力ある地域生活拠点の形成を目指しています。

東急電鉄大井町線連続立体交差事業は、令和5年(2023年)10月に都市計画決定されました。

本事業は、東京都が事業主体となり進めておりますが、区ではこれと併せ戸越公園駅駅前広場整備事業を検討しています。



### 計画の概要

#### 《都市高速鉄道東急電鉄大井町線》

- ①区 間 戸越公園駅付近(品川区豊町二丁目～品川区戸越六丁目)
- ②延 長 約1.1km(事業区間 約0.9km)
- ③構造形式 高架式(嵩上げ式)
- ④駅施設 戸越公園駅 ホーム延長：約110m ホーム幅員：約6m～8m

#### 《都市高速鉄道東急電鉄大井町線附属街路(側道)》

- ①第1号線(東鉄大付1) 延長：約40m
- ②第2号線(東鉄大付2) 延長：約60m
- ③第3号線(東鉄大付3) 延長：約220m